

地域医療連携推進法人 南檜山メディカルネットワーク 令和3年度 事業計画書

1 医療機能分担の仕組みづくり

地域医療構想の終期である R7 年度までに機能分担を方向づけられるよう、R3 年度については各法人の医療機能や運営状況、患者動向などを調査し、圏域内の医療提供体制の課題整理を行う。

- 重点支援区域のデータ分析支援を活用し、南檜山圏域全体での医療提供体制及び運営状況の現状と課題等の把握分析を行う。
- 地域医療構想調整会議に積極的に参画し、2 次医療圏としての議論を深化させる。
- 他圏域の高度医療機関との連携ルールの課題整理・検討を行う。

2 業務連携の仕組みづくり

圏域内連携として取り組むべき課題について、推進法人としての方向性や課題検討・運用手法の確立を行う。

- 医療従事者等のスキルアップに資する取組み
 - ・医師、看護師、薬剤師等の医療従事者や事務職員のための研修等を実施する。
 - ・函館圏の医療機関との連携による研修会への参画を検討する。
- 薬品、医療材料等の共同購入の取組み
 - ・参加法人共同での価格交渉の実施やスケールメリットを活かした費用縮減策の検討を行う。
- 人事交流・確保の取組み
 - ・派遣・応援等のルール作りに向けた検討・検証を行う。
- 江差病院の医療機器の共同利用の取組み
 - ・圏域全体での需要量、各医療機関での整備の必要性（必須機器、通院利便性、診断迅速性）の観点等から、圏域内での共同利用の推進、情報共有を行う。

○介護事業その他地域包括ケアの推進の取組み

- ・入院医療経過後の在宅復帰に向けた円滑な移行と在宅医療支援を十分に提供していくための課題整理・体制の検討を行う。
- ・在宅や施設における患者の急変時の対応及び後方支援等の提供体制のルール作りを検討する。

○地域住民に利用されるための環境整備の取組み

- ・積極的な情報発信（ホームページ等の広報活動の充実）に有効な手法を検討する。
- ・外部講師を招聘しての住民向けセミナー等を開催する。

○その他

- ・通院手段や在宅評価入院機能、電子カルテの共通化などについては、機能分担の検討に合わせ検討を行う。